

WORKS

Empower&Energize

No114
2008/4

名東福祉社会は名古屋市と日進市を中心に
知的障害者を中心とする福祉活動を行っています

児童行動療育セン ター『たけのこの家』 について

名東福祉社会顧問 久野能弘
(金沢大学名誉教授)

こちらにお世話になってそろそろ1年になるうとしています。わたしも随分あちこちの職場を転々としてきましたがこのセンターを人生の終着点と考えています。ブログにも書かせて頂いているのですが『たけのこの家』はわたしが70年かけてやつとのことと到達した理想郷です。そもそもわたしにとつて大学などというところは最も似つかわしくないところで、よくもまあ、40年近くもあのようなところで我慢できたものだと思われています。

「今日は辞めるぞ！」「今日は辞めるぞ！」と叫び続けるわたしに家内はよく言ったものです。「世の中では学者馬鹿という言葉があるけれど、あなたが大学を辞めたら唯のお馬鹿さんよ！」と。世の中では馬鹿とか阿呆とかいうのは悪口らしいのですがわたしが育った関西では阿呆は褒め言葉なのです。人間阿呆が出来なければ一人前やおまへん！初代の春団治だって藤

山寛美だって折り紙つきの役者馬鹿でした。最近では大阪府の知事にまでなったけれど女子学生のお尻を触って首になった横山ノックというのもしました。同じ横山でやすしというのもいてこれもまた相当な役者馬鹿でした。家内はお馬鹿さんといいますがわたしの臨床の出發は大阪府の精神薄弱者更生相談所であり、わたしにとつては世間でいうお馬鹿さんは差別用語でも何でもなくその人たちは臨床心理学での正真正銘のわたしの先生なのです。本来人間嫌いだったわたしがこれらの人たちだったのです。正直ではつたりがなく、神様のように清い存在が私にとつての知的障害を持つ方々なのです。

私はもともと動物心理学者と言つて、ネズミや泥鰌の研究をしていました。高校生のころに伝書鳩を飼っていました。帰巢性の研究がしたかったので心理学を選んだのです。こどものころの心許せる友人はウサギであり、犬であり猫であり、蛇やげいじりでさえあったのです。たまたま京都の伝書鳩の会の会長さんが裏寺町にあるお寺の御任職で、高名な心理学者の御兄弟だった関係からわたしは当時動物心理学のメッカであった関西学院大学の心理学に進学することになったのです。

世の中では先年亡くなった文化庁長官の影響で精神分析と心理学の区別がつかなくなっています。心理学は本来実験心理学に基づいた実証科学で、フロイトやユングの精神分析とは無縁のもので、フロイトもユングもアドラーも精神科医で厳密には心理学者ではないのです。その意味では河合隼雄先生も私の頭の中では心理学者には該当しないのですが京大の教育学部を経て何故か心理学者としての扱いを受けておられます。

さて、世渡りの下手なわたしは1965年に兵庫県の田舎町の病院で統合失調症の方々を相手に行動療法をはじめたのですが、まだわが国には行動療法の学会もなく、米国の研究誌を辞書と首っ引きでよみあさり、我が国では精神病患者へのオペラント療法としては最初の症例の報告をいたしました。最初にわたしの研究に目を止めてくれたのは室町化学という会社で行動療法の器具の売り込みのために日本への進出を考えていた米国の実験器具の会社の依頼を受けてのものでした。文献検索の結果、我が国では行動療法の実践家はわたしくらいしか引掛からなかったのでしょうか。

そんなこともあって、1967年ころから広島大学から講演の依頼をうけたり、関西大学から講義の依頼などが

あつて多少とも世の中で名前を知つていただけるとなりました。勤務していた病院の本院が医大となり、私は兵庫医大の心理学の教室に専任講師として採用されることになりました。

私が勤務した医科大学は白い巨塔で有名な某大学の勢力下にある大学で、2年で助教授に昇進したのは良かったのですが、世渡りの下手なわたしとしてはその後17年間、助教授のまま据え置かれました。17年といえれば子供が幼稚園から大学に入るまでの年月です。その間、大阪の福島で行動療法の研究会をつづけ、関西大学、関西学院大学、大阪市立大学、立命館大学で非常勤の講義を続けるとともに尼崎では自閉症児を対象に行動療育の実践をつづけました。彼方此方の大学院で教えた学生がそろそろ教授に昇進するころ、金沢大学から教授の声がかかり金沢大学の文学部に赴任することになりました。

結局、金沢大学には10年いたことになりました。金沢大学では随分多くの行動療法家を育てることができました。定年もまじかに迫つたある日、わたしの金沢大学での前任者であった田中富士夫先生が中京大学に日本で最初の心理学部が出来るので来る気はないかと声をかけて下さり、名古屋に來ましたのが8年前です。ありがたいこと

には金沢大学からハ人の学生たちが私を追いかけて中京大学の大学院に来てくれましたので、中京大学では非常に効率の良い行動療法家の養成ができました。

中京大学心理学部の学生はとても優秀でわたしのゼミに限って言いますと毎年トップの成績で卒業してきます。広島大学、大阪大学、兵庫教育大学、愛知教育大学、上越教育大学の院の入試に通じ、毎年中京に進学するかそれらの大学に進学するかで学生たちは頭をなやませていました。

『たけのこの家』に話を戻しましょう！現在わたしどものこの施設には月、延べ120人ほどの子供たちが通つて来ています。何分、小規模な施設で、直接子供さんを世話しているのは二人の心理のスタッフですが社会福祉士の所長がすべての外部とのやり取りや保護者との折衝にあたり、顧問であるわたしも、保護者のかたがたの療育相談育児相談、スタッフのスーパーバイズにあたつています。社会福祉士の所長さんは随分勉強家で福祉の知識だけでなく臨床心理、発達心理の知識もなかなかなものです。心理のスタッフの一人は院を出て臨床心理士の試験に通つたばかりのひとですが私のゼミで鍛えられた人で、その腕はそこいらの4、5年の経験を積んだ臨床心理士

とは比較にならないくらい高度です。もう一人は院には行かず現場で育つたひとですが知識技術ともに折り紙つきです。わたしどもの施設は単に子供たちの訓練の場であるばかりでなくお母様お父様がたの訓練の場でもありますので、1年も通つてきておられればこの周辺の大学の専門家より高い水準に達しておられることになりました。他に私どもの施設には臨床心理士の資格を得た上で研修に來ている2名の専門家もボランティアの学生たちもいます。

周囲の大学の院生たちも所属大学の指導教授の許可さえ得られれば遠慮なく研修に來ていただいても結構です。ただし口頭試問と簡単な筆記試験をいたします。研修に50万円はいたいただきたいところですが人材確保のため現在のところ実習代は無料としておきます。わたしの指導は口のきき方挨拶の仕方も含めて相当に厳しいので覚悟してきてください。

最後になりましたが『たけのこの家』に通つてきておられる保護者の方々に、お礼をもうしあげます。そして名東福祉会を支えてくださつていて多くのの方々にお礼をもうしあげます。

奈々枝日記

チンチヨウゲの花

今朝、チンチヨウゲの花が私の部屋に届けられました。早春を感じさせる花で、お彼岸も過ぎるころに終わりとなり、やがて桜の季節へと移つてゆく、つかの間の春つげ花です。

昔、私の家・・・というより加藤家の庭はたいへん広く、石灯籠や大きなけやきの木、小さな池、イチジクの木、離れの家までありました。

屋敷の地所は本屋がまんなかにあり、その前に古い菓子工場、私たちの家、庭が全部つながつていて、名古屋駅から歩いて10分くらいの距離にあるにしてはうっそうと木が茂り、都会に置き忘れられた別世界のようにもありました。

そんな大家族の中で3歳にして身体障害と知的障害を持つようになった長男が暮らしているといろいろと問題を起こします。長男が育つていく中で、私はいつも気が休まらず、なにかがあると心が折れそうになる日々でした。

庭の一角にチンチヨウゲの木が2、3本あつて、春ともなると、馥郁（ふくいく）たる高貴な香りに私はいつも慰められました。どんなに苦勞してい

でも「また頑張ろう」と気をとりなおしたものでした。

いろいろと懐かしい花をいつも届けたくださる利用者のお母さんたち……。私はこれまで数えきれないくらいの人々に支えられ、囲まれて、こんな年になるまで生きがいを感じながら暮らしています。支えられるだけで何もできない私ですが、私はみなさんの幸せを祈りましょう。

春近し

レジデンス日進の屋上へ上がってみました。風が強く、私の髪の毛はさかだち、春だということにとても寒い日でした。

日進市の町並みは輝いていて遠くのほうまでよく見えました。近くの三ツ池公園の木々も少しづつ芽吹いてきています。わがレジデンス日進の前の道沿いに桜の古木が数本ありますがチラホラと花が咲き、満開ももう間近かなことを想像させられます。

2、3日前、セルプセンターの総会があり、監事として出席しました。このたび障害者自立支援法によるさまざまな変革、改革があり、一時はみな驚きました。それが徐々に円滑な施行に向けての様々なプロジェクトチームによる研究が始まっています。「工

賃倍増」をめざして、いろいろな取り組みが始まっているのです。各作業所の熱意が伝わってきます。

わたしたちの施設でも「ロトを考える会」が発足し、活発な意見が交わされるようになっていきます。

障害者が自立することを推し進めるにはみな協力し合わなければなりません。今回の変革がいい方向にむかっ

ていければと思います。帰り道、名古屋栄の四ツ角あたりにしだけ桜が美しく、もうすでに満開であります。春は確実にそこまで来ています。施設へ戻ったとたん山のような書類にまた冬が来てしまいました。

小島一郎の支援センター日記

「選べる」ことの大切さ

早いもので、年が明けたと思ってい

たら、もう年度末である。障害者自立支援法が施行されて丸2年。今年度は見直し論議の年であった。この流れを受けて、来年度1年間はさらに見直し内容を詰め、平成21年度を迎えるというスケジュールである。事業者の報酬単価や利用者の区分の扱い、また区分認定自体のあり方など、ポイントは

盛りだくさんである。そもそも、障害者福祉の構造改革は措置制度から支援費制度への移行に端を発する。その根幹は、何と言っても「措置から契約へ」という利用者と事業者の関係の激変である。これにより、利用者は自らの選択した事業者と契約し、自分好みの暮らしを組み立てられるようになる……。はずであった。その後の自己負担の発生も、ある意味、「選べる」ことにより正当化されると言っても過言ではない。

ところが、である。これらの構造改革から数えて5年目を迎えるという現在、この「選べる」権利は、事実上、保障されていない。相変わらず施設は選べるほどないのが現状だし、ヘルパー事業所は増加しているものの、実働ヘルパー自体は減っている。介護保険に比べて報酬単価が低調なこともあり、それが事業者収入に響き、従業者の人員費抑制を招き、結果、ケアの質の低下につながる。事業者の職員研修技術・努力も十分とは言えないであろうが、何と言うか、「障害者福祉のデフレスパイラル」という様相である。確かに、施設が増えることを、国は望んでいないのかもしれない。入所施設に留まらず、授産系施設についても、働くことができる障害者はどんどん就労していただいて、必要数にまで絞り

込まれることは想定内かもしれない。ただ、一方で、入所施設や社会的入院からの地域移行を叫ぶのに反するよう

な、それを支えるはずの居宅系事業への「節約ぶり」はいかがなものか。現に、障害を抱えながらも地域で暮らしている方々は厳しい状況を強いられる。

例えば、重い身体障害を抱えての単身生活。毎日、ヘルパーによるケアがないと生活が成り立たない。そんな方々にとつてヘルパーのケアの質は生活の質に直結するが、信じられないようなモラルの低さに耐えかねて事業所に訴えても、下手をすればヘルパー不足を理由に事業所が逆切れする。本来の趣旨から考えれば、そんな事業所は斬って別の所を探せばよいのであるが、なかなか見つからない。ヘルパーがいなくても、当面、何とかなる方はよいのであるが、ヘルパー不在の生活の破綻という方にとつては、背に腹は……。という選択である。選べないことは、利用者のみならず、例えば支援センターのコーディネーター機能の劣化も当然意味する。利用者からのクレームをお聞きしても、手詰まりな状態となる。「これでは、サービス調整ではなく、クレーム仲裁だな」などと自嘲気味に悪い冗談でも言っ

最初に触れた区分の扱いなどもそうであるが、「選べる」ということが、これからの障害者福祉のキーワードなかもしれない。「選択を保障」できる仕組み作りこそが、合言葉なのかもしれない。

選択できること

名東福祉会理事長加藤久和

自由・博愛・平等は行動のレベルでは「選択できること」に行きつく。フランス革命の精神だ。フランスといえは日本の知的障害者教育・福祉の創始者ともいえる石井亮一、筆子夫妻を思う。

筆子は19歳でフランスに留学し、24歳で帰国後、学習院でフランス語の教師となっている。筆子がフランス革命の自由・博愛・平等の精神に強く影響を受けた事は想像に難くない。思えば、日本の知的障害者の歴史が始まって以来、「選択」は主要なテーマであり、これで十分ということはないのであろう。私たちの仕事には終わりが無いのかもしれないが、同時に「彼らが生き方を選択ができること」を主要な目標とする限り大きな間違いもないのだと思う。

ご寄付ありがとうございます

平成20年2月26日～3月25日

岡部昭子様

天白ワークス

はまなす

レジデンス日進

メイトウ・ワークス

伊藤鉦一様

加島美奈様

レジデンス日進家族会様

大原誠様

鈴木卓孝様

後藤良昭様

マーガレットサークル

永宮賢治様

佐知輝敏様

山田辰己様

名東福祉会のホームページ

ホームページアドレス <http://www.meito.or.jp>

●社会福祉法人 名東福祉会

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上納 58-4

TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

●メイトウ・ワークス

〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303

TEL 052(702)2863 FAX 052(701)2079

●天白ワークス

〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327

TEL 052(804)5487 FAX 052(804)5416

●デイケア はまなす

〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911

TEL 052(704)7551 FAX 052(704)7552

●レジデンス日進・ハートフルアクト日進

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上納 58-4

TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

●こいけホーム

〒465-0047 名古屋市名東区小池町 468-1

TEL 052(777)8385 FAX 052(777)8385

●天白ホーム

〒468-0021 名古屋市天白区平針字大根ヶ越 141-3

TEL 052(807)1578 FAX 052(807)1578

●児童行動療育センター「たけのこの家」

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上の山 14 番3

TEL 052-800-2203 FAX 052-880-2204

●メイ・グリーン

〒470-0124 日進市浅田町平池 112-3